

★ NEW SUNTORY 5 presents ★

# 木村陽一

ジャズ大賞受賞記念ライブ



木村陽一(vo)/小林創(p)/廣田昌世(b)/木村おおじ(ds)

2025  
2/9 (SUN)

大阪

NEW SUNTORY 5

大阪市北区曽根崎 2-10-15 5F  
Tel.06-6312-8912

OPEN 13:30/START 14:00/PRICE ¥3,000 (ドリンク付)

WINTER JAZZ MUSIC CONCERT

# 木村陽一 ジャズ大賞受賞記念ライブ

2025/2/9(SUN) 場所: 大阪 NEW SUNTORY 5



## 木村陽一 きむらよういち (vo)

1938年東京生まれ。終戦直後アメリカ進駐軍に自宅を接収され、一階に居住する進駐軍の将校が流していたルイ・アームストロングのレコードを耳にしてジャズに目覚める。1957年早稲田大学工学部に入学。早稲田大学ニューオーリンズジャズクラブの創設メンバーとして熱心にジャズの本質を追求。1961年松下電器に入社。同年、大阪で結成された「ニューオーリンズラスカルズ」のドラマー兼ヴォーカリストとして62年の長きに渡り国内外で活躍。1965年から3年間アメリカに留学し、米バプデュール大学院で電子工学を専攻。大学内のニューオーリンズジャズバンド「サルティドッグス」に加入。休日にはニューオーリンズに通い、伝説的なクラリネット奏者ジョージ・ルイスとの共演や、トロンボーン奏者ジム・ロビンソンのレコーディングなどに参加。2000年代にはアメリカのジャズレーベル、アーパーズレコード主催の米フロリダで行われたアーパーズジャズフェスティバルに自己のピアノトリオで3度に渡り出演。ルビー・ブラフ、フリップ・フィリップス、ミルト・ヒントン、バディ・デフランコなどの偉大なジャズミュージシャンたちと多数共演。現在はドラムを引退し、ジャズヴォーカリストとして86歳になった今でも精力的に国内外で活動の場を広げている。

## 小林創 こばやしはじめ (p)

東京都出身。早稲田大学在学中より都内ライブハウスやパーを中心に演奏活動をはじめ、全国のジャズフェス、ホテルや客船のクルーズにおいても多数演奏。ストライド奏法を使った古いスタイルのジャズからモダンジャズまで、どんなプレイヤーともサウンドする演奏に定評がある。2021年秋から22年春に放映されたNHKの朝ドラ『カムカムエヴリバディ』のサウンドトラックに参加。2022年劇場公開の『新感覚 JAZZ ユニットトレストレス』の音楽監督を担当。そして俳優としても出演を果たす。現在は星野源、大橋トリオ、アン・サリー、安藤優子、上白石萌音などのメジャーアーティストとの共演をはじめ、「はじめとおおじ」「GOOD OLE MUSIC BAND」などライブやレコーディングを中心に、映画やテレビなどのサウンドトラック制作など、様々な分野で活動の場を広げている。

## 廣田昌世 ひろたまさよ (b)

大阪府堺市出身。10代ころエレクトリックベースで様々なバンドを経験するも、ジャズに傾倒しコントラバスを始め、ジャズとクラシックを師事。プロ活動を開始。歴史好きな性格からJAZZの歴史を遡ってトラディショナルJAZZを敬愛しトラディショナルからモダン、そして世界の民族音楽まで幅広く演奏するベーシストとなる。現在関西を中心にさまざまなライブシーンで活躍。ジャズ界屈指のアルコ(弓)使いであり、アルコ奏法でも聴衆を魅了する。2020年にはコントラバス solo アルバムをリリース。2022年末、管楽器やギターを軸にしたリーダートリオバンド「新感覚 JAZZ ユニットトレストレス」のCDアルバムをリリース。ジャンルの枠にとらわれない自己の活動は常に精力的でありコントラバスの無限の可能性を追求する。

## 木村おおじ きむらおおじ (ds,vo)

兵庫県芦屋市出身。日本が世界に誇るトラディショナルジャズバンド「ニューオーリンズラスカルズ」のドラマー木村陽一を父に持ち、その影響でドラムを始める。93年よりニューオーリンズスタイルのブラスバンド「BLACK BOTTOM BRASS BAND」で19年間に渡りスネアドラムを担当。2008年から軽音楽バンド、ブルームーンカルテットでドラムスを担当。現在は「はじめとおおじ」「GOOD OLE MUSIC BAND」および自身のコンビなど、様々なバンドでライブを中心に日本全国で活躍中。2021年秋から22年春に放映されたNHKの朝ドラ『カムカムエヴリバディ』のサウンドトラックと映像に参加。2022年の秋には一瀬晶監督の長編映画『リ、ライト』の音楽制作を担当。俳優としてスクリーンデビューも果たす。トラッドジャズからポップスまで造詣が深く非常に幅広い音楽性を持ち、「ロールの魔術師」と呼ばれるその美しいドラムロールは唯一無二。ライブのみならず、映画のサウンドトラック制作から演劇や映像にも出演し、多方面で活動の場を広げている。